

2006年2月15日

**プレスリリース**

 本資料は2月15日にチュ  
 ーリッヒで発表されたプレ  
 スリリースの翻訳版です

## クレディ・スイス・グループ 2005年第4四半期および2005年通年の決算報告を発表 2005年通年純利益59億スイス・フラン

クレディ・スイス・グループは、本日、2005年第4四半期および2005年通年の業績を発表しました。それによると、2005年通年は、58億5,000万スイス・フラン（以下CHF）の純利益を計上し、前年（2004年）の純利益の56億2,800万CHFを上回りました。2005年通年の純利益は、2005年第4四半期にコーポレート・センターに計上した特定株式に基づく報酬授与に関連した非現金費用、税引後4億2,100万CHF、および同年第2四半期に法人向け証券部門に計上したあるプライベートの訴訟関連引当金の積増分としての税引後費用6億2,400万CHFを反映しています。2005年第4四半期の純利益は、11億300万CHFでした。前年同期の純利益は9億5,900万CHF、2005年第3四半期は19億1,800万CHFの純利益でした。2005年通年の新規純資産は584億CHF、自己資本収益率は15.4%を記録しました。クレディ・スイス・グループの取締役会は、2006年4月28日に開催予定の年次株主総会で1株当たり2.00CHFの配当金の支払いを提案する予定です。

**財務ハイライト**

| 単位：百万CHF            | 2005年<br>通年<br>(12ヵ月) | 2004年通年<br>からの<br>増減率(%) | 2005年<br>第4四半期 | 2005年第3<br>四半期からの<br>増減率(%) | 2004年第4<br>四半期からの<br>増減率(%) |
|---------------------|-----------------------|--------------------------|----------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 純営業収益               | 60,632                | 10                       | 14,218         | (8)                         | 10                          |
| 総営業費用               | 27,954                | 14                       | 7,703          | 10                          | 26                          |
| 純利益                 | 5,850                 | 4                        | 1,103          | (42)                        | 15                          |
| 自己資本収益率：グループ        | 15.4%                 | -                        | 11.2%          | -                           | -                           |
| 自己資本収益率：バンキング       | 16.2%                 | -                        | 10.8%          | -                           | -                           |
| 自己資本収益率：ウインター<br>ウル | 11.7%                 | -                        | 11.4%          | -                           | -                           |
| 1株当たり利益（スイス・フラン）    | 5.17                  | -                        | 0.98           | -                           | -                           |
| BIS第1分類資本比率         | 11.3%                 | -                        | -              | -                           | -                           |

クレディ・スイス・グループ最高経営責任者のオズワルド・グリューベルは次のように述べています。「2005年は、クレディ・スイス・グループにとって決定的な年になりました。バンキング事業の統合化とともに、当社事業の成長拡大と収益力の向上も同時に成し遂げました。特に、各事業部門は、クライアント活動を活発化させることにより、増収を図ることができました」。

「2005年の業績が示すように、当社は、目下、事業の基本収益構造の変革に注力し、実績を上げています。新しい事業統合構造の確立により、当社の成長と株主利益還元のさらなる強化に役立つと期待しています」（グリューベル）。

#### クレディ・スイス・グループ：バンキング事業の業績

| 単位：百万 CHF                 |       | 2005年<br>通年<br>(12ヵ月) | 2004年通<br>年からの<br>増減率<br>(%) | 2005年<br>第4四半期 | 2005年第3<br>四半期から<br>の増減率<br>(%) | 2004年第4<br>四半期から<br>の増減率<br>(%) |
|---------------------------|-------|-----------------------|------------------------------|----------------|---------------------------------|---------------------------------|
| プライベート・<br>バンキング          | 純営業収益 | 7,729                 | 8                            | 1,986          | (2)                             | 16                              |
|                           | 総営業費用 | 4,431                 | 7                            | 1,162          | 3                               | 17                              |
|                           | 純利益   | 2,647                 | 7                            | 653            | (10)                            | 6                               |
| コーポレート&<br>リテール・バンキ<br>ング | 純営業収益 | 3,458                 | 3                            | 861            | (2)                             | 7                               |
|                           | 総営業費用 | 2,186                 | 7                            | 558            | 1                               | 17                              |
|                           | 純利益   | 1,069                 | 19                           | 254            | (4)                             | (1)                             |
| 法人向け証券                    | 純営業収益 | 15,102                | 15                           | 3,622          | (16)                            | 25                              |
|                           | 総営業費用 | 13,643                | 20                           | 3,347          | (2)                             | 27                              |
|                           | 純利益   | 1,080                 | (18)                         | 336            | (45)                            | 25                              |
| ウェルス&アセッ<br>ト・マネジメント      | 純営業収益 | 5,234                 | 25                           | 1,478          | 18                              | 44                              |
|                           | 総営業費用 | 2,687                 | 6                            | 780            | 14                              | 16                              |
|                           | 純利益   | 663                   | 25                           | 182            | 80                              | 189                             |

**プライベート・バンキング部門**の2005年第4四半期の純利益は6億5,300万CHFを計上し、2004年第4四半期の実績を6%上回りました。これは主として手数料収入およびフィー収入の増加ならびに取引による収入の増加（但し、従業員報酬および諸手当の増加によって一部相殺されました。）によるものです。当期の純利益は、2005年第3四半期に比べ10%減少しましたが、これは主として、その他の費用が増加したことによるものです。加えて、当期の手数料およびフィーの増収によっても、取引による収入の減少および正味受取利息収入の減少をカバーできなかったことも上げられます。2005年通年では、プライベート・バンキングの純利益は26億4,700万CHFを計上し、前年比7%増を記録しました。この増益は主として預かり運用資産の増加に関連した大幅な増収、取引による増収、およびブローカー業務取引高の増加に起因するものです。2005年第4四半期の粗利益率は123.4ベース・ポイントで、2004年第4四半期を4.8ベース・ポイント、2005年第3四半期を7.5ベース・ポイント、それぞれ下回りました。2005年通年の粗利益率は129.2ベース・ポイントで、同部門の中期目標の130ベース・ポイントのレベルは確保しましたが、前年度を4.5ベース・ポイント下回りました。費用/収益比率は、2005年第4四半期が58.5%で前年同期を0.7パーセンテージ・ポイント上回りました。また2005年通年は57.3%で、前年を0.5パーセンテージ・ポイント下回りました。

**コーポレート&リテール・バンキング部門**の2005年第4四半期の純利益は2億5,400万CHFを計上し、前年同期を若干下回るとともに、同年第3四半期を4%下回りました。2005年通期の純利益は10億6,900万CHFを計上し、過去最高を記録しました。これは、前年実績を19%上回るもので、主として、このところ続いている良好な与信環境を反映して、与信損失関連引当金を、2004年通年の正味1億2,200万CHFに比べ、2005年通年で正味9,600万CHF分解除したことによります。また、正味増収が、総営業費用の増加によって一部相殺されたものの、これを上回る伸びを記録したことによります。2005年第4四半期は、信用損失関連引当金を正味2,300万CHF分解除しました。前年同期は正味600万CHF分、2005年第3四半期は正味1,000万CHF分、それぞ

れ当該引当金を解除しました。同部門の2005年第4四半期の平均配分資本比率は19.2%で前年同期を1.6パーセンテージ・ポイント下回りました。しかし、2005年通年の平均配分資本比率は20.7%となり、前年を2.7パーセンテージ・ポイントも上回りました。

**法人向け証券部門**の2005年第4四半期の純利益は3億3,600万CHFで、前年同期を25%上回りました。これは、主として業界全体の活動の活発化によって、投資銀行事業の純収益が大幅に増加したことによるものです。この増収分は、総営業費用の増加によって一部相殺されました。2005年第4四半期の純利益は、特定税金関連項目によりプラスの影響を受けました。同四半期の税額控除は1億3,200万CHFでした。2005年第3四半期の業績が大変好調であったことから、これと比較した場合、2005年第4四半期の純利益は45%減となりますが、これは主として、市場環境が全体としてやや思わしくなかったことから株式売買業務の収入が減少したことによります。2005年通年の純利益は、前年比18%減の10億8,000万CHFでした。2005年第2四半期に、あるプライベートの訴訟事件のための引当金の積み増しにより税引後費用6億2,400万を計上しましたが、この費用を除いた場合、2005年通年の純利益は、前年比30%増の17億400万CHFとなります。2005年通年の税引前マージン（少数株主持分関連の収入および費用を除く）は7.9%でした。2005年第2四半期に計上した税引前訴訟関連費用9億6,000万CHFの影響分を除いた場合の2005年通年の税引前マージン（同じく、少数株主持分関連の収入および費用を除く）は、前年の12.7%を上回る14.4%となります。

**ウェルス&アセット・マネジメント部門**の2005年第4四半期の純利益は1億8,200万CHFで、前年同期を189%上回りました。これは主として、すべての主要事業分野で増収が記録され、退職手当関連費用が減少し、これが、その他の費用の増加によって一部相殺されたことによります。当期の純利益は、2005年第3四半期を80%上回りましたが、これはオルタナティブ・キャピタル、クレディ・スイス・アセット・マネジメント両部門が増収（ただし、その他の費用の増加によって一部相殺されました）されたことによります。2005年通期の純利益は前年を25%上回る6億6,300万CHFに拡大しましたが、これは主にオルタナティブ・キャピタル部門の投資関連利益の拡大によるものです。

## 新規純資産

### 2005年通年 新規純資産および運用資産

|                                | 2005年       | 運用資産合計              | 2004年12月                   |
|--------------------------------|-------------|---------------------|----------------------------|
|                                | 新規純資産       | (2005年12月<br>31日現在) | 31日現在からの<br>運用資産増減率<br>(%) |
| プライベート・バンキング                   | 42.7        | 659.3               | 22.3                       |
| コーポレート&リテール・バンキング              | 2.0         | 57.8                | 7.2                        |
| 法人向け証券                         | (2.0)       | 14.5                | (4.6)                      |
| ウェルス&アセット・マネジメント <sup>1)</sup> | 12.5        | 599.4               | 26.7                       |
| ライフ&ペンション                      | 3.2         | 126.0               | 9.1                        |
| 損害保険                           | 該当なし        | 27.3                | 13.3                       |
| <b>クレディ・スイス・グループ</b>           | <b>58.4</b> | <b>1,484.3</b>      | <b>21.6</b>                |

<sup>1)</sup> 当グループに属する会社のために運用する資産を除く。

プライベート・バンキング部門は、すべての地域からの資産流入が高水準で推移したことから、2005年通年で過去最高の427億CHFの新規純資産を獲得しました。伸び率は前年比7.9%を記録し、前年の伸び率5.2%ならびに2005年度中間目標の5%をそれぞれ大幅に上回りました。同部門の2005年第4四半期の新規純資産流入分は86億CHFでした。ウェルス&アセット・マネジメント部門の2005年通年の新規純資産は125億CHFでした。この内訳は、プライベート・クライアント・サービス部門の資産流入分が68億CHF、オルタナティブ・キャピタル部門の資産流入分が49億CHF、クレディ・スイス・アセット・マネジメント部門の資産流入分が8億CHFとなっています。これにより、クレディ・スイス・グループ全体として2005年に獲得した新規純資産は584億CHFとなりました。また、当グループの運用資産総額は2005年12月31日現在1兆4,843億CHFで、2004年12月31日現在の実績を21.6%上回りました。

## 保険事業部門

保険事業部門について、オズワルド・グリュール最高経営責任者は次のように述べました。「ウインタートウルの事業には、2005年、全体的な財務業績の改善と営業業績の強化など、かなりの進展が見られました。これは、とりわけ、過去3年間に実施した業績改善に向けた取り組みの効果の表れと強調できましょう。ウインタートウルには成長と収益力強化の可能性がまだまだ残されていると確信しています」。

### クレディ・スイス・グループ保険事業部門の業績

| 単位：百万CHF  |       | 2005年<br>通年<br>(12ヵ月) | 2004年通<br>年からの<br>増減率<br>(%) | 2005年<br>第4四半期 | 2005年第3<br>四半期から<br>の増減率<br>(%) | 2004年第4<br>四半期から<br>の増減率<br>(%) |
|-----------|-------|-----------------------|------------------------------|----------------|---------------------------------|---------------------------------|
| ライフ&ペンション | 純営業収益 | 18,197                | 10                           | 3,627          | (15)                            | (8)                             |
|           | 総営業費用 | 1,883                 | 6                            | 412            | (33)                            | 0                               |
|           | 純利益   | 490                   | (6)                          | 152            | 58                              | 0                               |
| 損害保険      | 純営業収益 | 11,688                | 1                            | 2,890          | (2)                             | 2                               |
|           | 総営業費用 | 2,850                 | (9)                          | 754            | 3                               | (23)                            |
|           | 純利益   | 578                   | 181                          | 126            | (34)                            | -                               |

ライフ&ペンション部門の2005年通期の純利益は4億9,000万CHFでした。当期は、リスク・マージンの改善を反映した資産運用業績に引き続き注力するとともに、好調な成長ダイナミズムの維持に努めました。純利益は、2004年通期の実績に比べ6%減少しましたが、これは主として、2005年第3四半期の保険計理上の前提およびモデルの変更に関連して保険契約者に支払った分配金6100万CHFおよび税引後正味マイナス影響分に起因しています。同四半期の措置により、関連引当金を積み増し、保険関連無形資産（営業権）が減少しました。総営業費用も、この影響によって、前年比6%増となりました。2005年第4四半期の純利益は、前年同期と変わらず、安定した1億5,200万CHFを確保しました。2005年通期の総取引高は、前年実績を5%、9億800万CHF上回りましたが、これは、英国、中欧・東欧諸国および日本における保険料収入事業の大幅な伸びと、ドイツおよびスペインにおける、ならびにスイスの団体生命保険事業における総保険料引受高の堅調な伸びによるものです。2005年の純投資収益は、前年を21%上回りました。これは主としてユニット型関連事業を支えている基本資産の市場価値が大幅に上昇したことによるものです。これにより、保険契約者取引口座残高が増加しました。

**損害保険部門**の2005年通年の純利益は5億7,800万CHFとなりました。前年の純利益は2億600万CHFでした。2005年の業績には、主として、保険引受業務の改善と、2001年のウインタートウル・インターナショナルの売却に関連して2004年に計上した経常外費用が反映されています。同部門の2005年第4四半期の純利益は1億2,600万CHF、前年同期は1億7,700万CHFの純損失でした。2005年通期の純保険料収入は前年変わらずで、選択的引き受け方針を反映した業績となりました。合算比率は前年比3.5パーセンテージ・ポイント改善しました。これは、保険クレームの減少ならびに費用管理とクレーム管理の改善によるものです。2005年通年の費用比率は、若干改善し24.6%となりました。また、2005年通年の総投資収益率は前年の4.4%から4.2%に減少しましたが、これは主として債券の実現利益の減少によるものです。

### **株式ベースの報償の会計処理方法の変更**

従業員早期退職の適格範囲を超えて権利付与を予定していた、競業避止義務規定を有する株式ベースの報償の支出にかかる適切な期間に関して、2006年2月10日までに受けた米国証券取引委員会（SEC）担当者による最近の指導および同担当者との話し合いに従って、クレディ・スイス・グループは、一定の株式ベースの報償の会計処理方法を変更しました。このため、クレディ・スイス・グループは、2005年に付与した一定の株式ベースの報償について、2005年第4四半期にコーポレート・センターに非現金費用を計上しました。この結果、2005年四半期、通年のそれぞれで、バンキング部門の報酬および諸手当が6億3,000万CHF増加し、純利益が4億2,100万CHF減少しました。この非現金費用は、報酬費用の加速化を反映していますが、仮に当年に計上されなかったとしても、将来の事業年度で計上されることになった費用です。

### **自社株買戻しプログラム**

自社株買戻しプログラムに関連して、クレディ・スイス・グループが買戻した株式数は、2006年2月10日現在、26,152,200株で、買戻し金額は14億CHF相当となっています。

### **配当金の提案**

クレディ・スイス・グループの取締役会は、2006年4月28日開催予定の年次株主総会で、2005事業年度の業績に関して1株当たり2.00CHFの配当金の支払いを提案する予定です。前年度の配当金は1株当たり1.50CHFでした。今回の提案が承認された場合、配当金の支払い日は、2006年5月4日を予定しています。

### **2006年の見通し**

クレディ・スイス・グループは、世界的な経済成長と資本市場について、現在のところ楽観的な見通しをもっています。経済成長は引き続き堅調に推移し、インフレ率の抑制も維持され、この結果、金利も穏やかな上昇に留まると考えています。大きなマイナスの影響を与える地政学的な展開や外的な出来事が生じなければ、株式市場は債券市場を上回る活況を呈し、米国ドルも引き続きうまくサポートされると見えています。石油価格は、2006年初頭は新規高値に達する可能性があるものの、その後は下降傾向に転ずるのではないかと見えています。

## 本件に関するお問い合わせ先

コーポレート・コミュニケーションズ

梶野 勇

Tel 03 4550 9893

Email [isamu.kajino@credit-suisse.com](mailto:isamu.kajino@credit-suisse.com)

## クレディ・スイスについて

クレディ・スイスは、世界有数の銀行として、インベストメント・バンキング、プライベート・バンキング、アセット・マネジメント事業を世界中で展開し、アドバイザー・サービス、包括的なソリューション、革新的な商品を、世界中の法人および富裕層個人顧客、またスイス国内の一般個人顧客に提供しています。クレディ・スイスは、世界 50 ヶ国以上に拠点をもち、約 40,000 人の従業員を有しています。

## 予測情報に関する注意事項

本プレス・リリースには予測情報に該当する記述が含まれています。さらに、将来、当社および当社に代わって他の者が予測情報に該当する内容の声明をおこなう場合があります。かかる予測情報には当社の計画、目的もしくは目標に関する声明、当社の将来的な業績もしくは見通し、一定の偶発事由による当社の業績に対する潜在的な影響およびかかる声明の基礎となる前提事項などが含まれます。「信じている」、「期待している」、「予期している」、「企図している」、「計画している」およびこれらに類似の表現は予測情報であることを示すために使用していますが、予測情報かどうかを見分ける決定的な要因ではありません。適用される法律により要求される場合を除き、当社は特にこれらの予測情報を更新することは予定していません。予測情報の性質上、予測情報には一般的または具体的な固有のリスクや不確定要因が伴い、予想、予測、見通しおよび予測情報に記載もしくは暗示されたその他の結果が達成されないリスクが存在します。いくつかの重要な要因によって、実際の結果が予測情報に含まれる計画、目的、予想、予測および企図と大幅に異なる場合があります。留意して下さい。これらの要因には以下のものが含まれます。(i) 市況および金利の変動、(ii) 一般的には世界的な経済力、および特に当社が業務をおこなう国の経済力、(iii) 相手方の当社に対する義務履行能力、(iv) 会計、金融、貿易および税務の方針の影響およびこれらの方針の変更ならびに為替変動、(v) 戦争、社会不安、およびテロなどの政治的、社会的情勢、(vi) 当社が業務をおこなう国における外国為替管理、公用徴収、国有化もしくは資産の没収、(vii) 十分な流動性を維持し、資本市場に参入する能力、(viii) システム故障、人的エラー、もしくは手続の適正な処理不能等の業務運営上の要因、(ix) 当社が業務をおこなう国における、規制当局による当社の事業および活動に対する措置、(x) 法律、規制および会計原則もしくは実務の変更による影響、(xi) 当社が業務をおこなう地理的な地域および営業地域における競争、(xii) 有能な人材を保有し、採用する能力、(xiii) 当社の評判を維持し、ブランドを促進する能力、(xiv) 市場を拡大し、費用を管理する能力、(xv) 技術の変化、(xvi) 当社の新商品および新サービスの適時の開発および導入、ならびに顧客による当該新商品および新サービスの認識された全体的な評価、(xvii) 買収、および買収後の事業統合を成功させる能力、(xviii) 訴訟およびその他の偶発事由による不利な結果、および(xix) 当社の上記リスクに関する管理能力。上記の重要な要因のリストはすべての要因を列挙したものではありません。予測情報を分析する場合、上記の要因およびその他の不確定要因および事由を注意深く検討すると共に、米国証券取引委員会に提出された当社の直近のフォーム 20-F およびフォーム 6-K に記載されたリスクをも検討して下さい。